

議会だより

6月定例会



「やったー、今日はプールで遊べるよ」(第2光の子保育園)

- インターネットでも役場への申請が一部可能になります … ②
- 9議員による町政への提言 …………… ③
- 議員広報委員の費用弁償を廃止(議員発議) …… ⑩
- 「町民バスの運行を」(請願付託) …………… ⑪

インターネットでも役場への申請が 一部可能になります

第3回定例会は、6月16日から24日までの9日間の会期で開かれた。

オンライン化による行政機関への手続きが本年7月より一部可能となり、その運用上の条例の制定をはじめ、他13の提案を慎重に審査し、すべて可決している。併せて意見書1件、議員発議による条例改正1件を可決、「町民バス」運行に関する請願を総務文教常任委員会に付託した。

電子申請サービスが始まります

宮城県において先行して進めていたオンライン化による行政機関への手続きについて本年7月より、宮城県と県内24市町との共同運用が開始されることから、大河原町でもこれまでの書面による方法に加え、オンラインでの行政手続きが可能となるよう、条例を新たに定めるもの。

(全員賛成で可決)



▲自宅からインターネットで申請が可能に

農業委員の定数を削減

農業委員会等に関する法律の一部改正により、「選挙による委員の下限定数」が廃止されたことにより、その定数を10人から9人に削減するもの。

問 農業委員会では削減に対して異論はなかったのか。

答 農家戸数や耕作面積の減少という状況にあるので異論はなかった。

(全員賛成で可決)

地方卸売市場特別会計 合併計画の補正予算

白石市・角田市・大河原町地方卸売市場の卸売会社合併計画が進められ、合併新会社への出資金として300万円を増額するもの。

問 合併計画では取扱高、町への手数料収入はどの位見込んでいるのか。

答 取扱高は22年度7億6千万円。23年度7億7千万円。収入は取扱高の0・5%で350万円と見込んでいる。

(全員賛成で可決)

6月定例会 一般会計主な補正予算

収入	
感染症予防国庫補助金	200万円
地方卸売市場事業繰入金	△150万円
財政調整基金繰入金	△198万円
自治総合センターコミュニティ助成金	730万円
支出	
行政区コミュニティ助成	730万円
国保会計繰出金	354万円
乳がん子宮がん検診委託料	295万円
下水道事業会計繰出金	△700万円
各種特別職費用弁償	△440万円



▲卸売市場全景

町政への提言
Q
&
A

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをたずぬもの。
今回9人の議員が行った。

佐藤貴久 議員 P④

- きめこまやかな教育環境の整備をめざして

岡崎 隆 議員 P④

- 住民とともに開かれた協働のまちづくり実現にむけて
- 感染症の対策に職員への啓発と二酸化塩素の活用を(掲載外)

万波孝子 議員 P⑤

- 全国各地の自治体に広がる「住宅リフォーム助成制度」の実施を
- 国民健康保険税の軽減の周知と減免制度の活用を(掲載外)

堀江一男 議員 P⑥

- 命を大切にする教育の充実を
- 街路灯・防犯灯へLEDの導入を(掲載外)

半澤敏美 議員 P⑥

- さらなる行政サービスの向上を
- 高齢者の交通事故防止対策を(掲載外)

松井美子 議員 P⑦

- 生活道路の安全確保に側溝との段差解消や路側線設置を
- 想定以上の降雨でも浸水被害を出さないために(掲載外)
- ひとり暮らし等緊急通報システム利用を増やす手だてを(掲載外)

平間孝士 議員 P⑧

- ブックプレゼントで心の教育を
- 受領委任払いで負担の軽減を(掲載外)

丸山勝利 議員 P⑧

- 災害時の水利は万全か

柘 和也 議員 P⑨

- 給食は自園調理の堅持を



岡崎 隆 議員



佐藤貴久 議員

きめこまやかな 教育環境の 整備をめざして

問 学習指導要領が脱ゆとりと大きくかじを切り、

新しい教科書では言葉で表現する力を身につけるための学習がすべてに盛り込まれている。子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる学びの学校づくりを整備すべきと提言する。

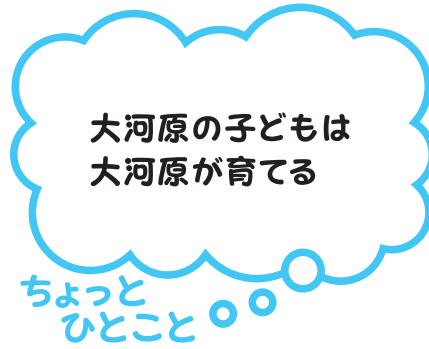
(1) 全国学力調査の希望参加の方向性を問う。
(2) 標準学力テストの効果と課題をどう捉えているか。
(3) 外国語指導助手招致事業を見直してはいかがか。
(4) 小1プロブレムと不登校傾向の現状はどうか。
(5) ちよつと気になる子どもにどう対処しているのか。

(6) 外国語活動の取り組み方はどうか。

(7) 脱ゆとりの学習内容に対応する指導態勢は万全か。
(8) 一学区制に対する中学校の取り組みの成果は。
(9) 教科書改訂のこの機会に条例も制定し、少人数授業の実施に踏み込むべきと考えるがいかがか。

答 (1) 希望調査に参加しない方向性でいく。

(2) 中学校に関して年1回5教科実施で望みたい。
(3) NET導入も視野に入れ検討してみたい。
(4) 指導方法、解決方法を事前に構築しておく。



大河原の子どもは
大河原が育てる

ちよつとひとこと

(5) 従来のシステムに加えて生徒指導推進協力員の有効活用で対処する。
(6) 中学校との連携を深め、英語教育の充実を図りたい。
(7) 教育環境の整備、指導体制の構築により、その対策を深めたい。

(8) きめこまやかな情報の把握、提供に努めていく。
(9) 充実した少人数授業の実施を前向きに協議したい。
※小1プロブレム
入学したばかりの子が授業に集中出来ないこと。
※NET
母国語が英語の先生の意味。



▲小学校授業風景

住民と共に開かれた 協働のまちづくりの実現に向けて

問 現在までの取り組みでは

執行部、議会は町民に十分な説明責任を果たしていない。議員となり1年経つが、執行部が議員に対

もコロナ会議と同時進行で

策定中であるが、町民本位の立場で今後、行政が行われるべきであると考えるがどうか。

(4) 第五次長期総合計画の策定にあたり、第四次長期総合計画の達成率（達成度）の検証は行われたのか。

理解願いたい。
(3) 緊急的な政策が多く当日の配布になっているが、今後事前に配布できるように取り組んでいきたい。
(4) まちづくりの継続性を考え、振り返る作業は必要。6月一杯かかるが現在作業中である。



全国各地の自治体に広がる 「住宅リフォーム助成制度」 の実施を

万波孝子 議員

問 経済不況で、町内の個人業者や企業は仕事がなく大変困っている。一方、長年住んだマイホームが老朽化し、リフォームをしたいが改築費などを考えると踏み切れない声がある。こうした中、今住宅リフォーム（持ち家）助成制度が全国に広がり、30都道府県、154自治体が実施している。住民にも好評で雇用拡大や仕事おこしに弾みがつき、地域経済の活性化につながっている。助成額、工事内容や条件などは自治体によって異なるが、最近、石巻市でも6月1日から住民の声に応え独自の景気対

策として「住宅リフォーム補助金交付制度」をスタートした。補助対象の工事は費用10万円以上の住宅リフォーム。屋根の雨漏り修繕や外壁補修、内装の模様替え、台所、浴室の改修、畳替えなどに要した費用の10%（上限20万円）を補助。例えば200万円の工事は20万円の補助。施工業者は市内に本店機能を有する法人か個人業者に限定されている。工事費総額は2億円。申し込みが殺到し、2000万円の追加予算を計上したという。こうした先進自治体に学び、希望者や業者からの問い合わせも多



▲役場内の情報公開室

して行う説明の場でも既に決定したと受け取られる案件もあった。
町民不在の町政と言われないためにも議員・町民には起案に至り、計画され事業の決定に至るまでの過程をより深く説明する責任がある。次期の長期総合計画

(1) 情報公開制度は現在のままでよいと考えるか。
(2) 議員・町民に広く、全員協議会の前に開催される政策調整会議等の議事録の公開を求めるがどうか。
(3) 全員協議会の資料を当日ではなく、事前に配布することを望むがどうか。

答 (1) 平成13年に制定された法律に基づき公開している。現状で支障は出ていない。
(2) 政策調整会議は意思形成過程のもので著しい支障ができる公文書は公開しないことができる」と情報公開条例第9条第6号にあるのでご

町民にも業者にも喜ばれる
「住宅リフォーム助成」を
町も本気で考えて
ちょっとひとこと

答 雇用対策等への効果を示すはしないが、大手住宅メーカーによる建築も

く、全国的に反響を集めている住宅リフォーム助成制度に当町も独自に取り組んでいく考えはないか。



▲リフォームの手助けがあるといいなあ

もっと町民に知らせて
ちょっとひとこと

数多くあり、地元事業者が直接受注したい状況にもあるので、慎重に検討する必要があると考える。



半澤敏美 議員



堀江一男 議員

命を大切にする 教育の充実を

問

子どもの頃から命を大切に
にする教育は大変重
要なことであると考えますが、
その対応はどうか。

(1) 学校教育の中で、どのよ
うな教育・指導がなされて
いるのか。

(2) 小学校5・6年生や中学
生を対象とした命を大切に
する講演会や救命講習会を
開催し、子どもたちに命の
大切さ、尊さを学ぶ教育を
行う考えはないか。

(3) P T Aを対象にした講習
会も開催してはどうか。

答

(1) 学校教育では、教科
指導、道徳指導、特別
活動等の各領域に分け、そ

れぞれの領域で指導目標を
掲げ学習指導に当たってい
る。命に関わる指導は主に
道徳指導の領域となるが、
その他教科指導、特別活動
の中でも命の大事さ、命の
誕生の尊さ、生きる喜び等々、
命に関わる指導場面は広範
囲で指導している。

(2) 命の大切さを学ぶ機会や
指導場面を設定することは
意義があると考えているが、
学校教育は学校指導計画と
いう年間計画書に従い、指
導時期や指定された限られ
た指導時数の基に、教育課
程の履行を果たすもので計
画的な位置づけを持つて実
施されなければならないの

で、今後指導計画書の中で
学校の事情に合わせて適宜
その指導教科を図ることは
大事なことと思う。

(3) 学校教育場面として直接
救命講習会等の学習時間を
設定することに難しさを感じ
る点もあるが、親と子ど

痛ましい事件が
起きないように

ちょっと
ひとこと



▲元気に外で遊ぶ生徒たち

さらなる行政サービスの向上を

問

(1) 職員の資質向上策と
それに伴う民間企業等
での体験学習を実施しては
いかないか。

答

(1) 民間企業で体験する
ことによる企業におけ
る顧客のニーズに即応する
体制等を学ぶことは多い。
職員が他の場所で研修する

議論をしている。こうした
体制づくりを今後も展開し
ていきたい。

(3) 地域と役場が協働でまち
づくりを行うためにも、地

(5) 受付案内係を置くことよ
り、町民生活課の窓口に来
庁者が聞きやすい工夫を考
える。今後、ワンストップ
サービスとしての総合窓口
等、調査研究を進めたい。



松井美子 議員

生活道路の安全確保に 側溝との段差解消や 路側線設置を

問 住宅地内の町道の舗装で側溝との段差が生じ、法面を作って路肩の処理をしている所を多く見かける。道路が交差するある所では側溝縁から高さ約40cm、道路中心部に約70cmも入って法面が作られている。そのため道路の利用幅がせばめられ歩道のない生活道路で車と歩行者、自転車の往来で足を踏み外したり、脱輪の危険もあり、直してほしいという町民の声がある。

(1) 住民からの声や訴えの他、町道の現状把握はどのような方法で行っているのか。

(2) 側溝と段差が生じる道路では側溝のかさ上げが必要

なのではないかと。 (3) 町道の平均的道路幅ほどの位か。 (4) 利用者の安全確保のため路側線をしつかり引くことが大事ではないか。実施の考えは。 (5) 4m未満の道路幅でも利用者の安全上、路側線を引く対応を求める。

答 (1) 職員による道路パトロール、区長からの要請、住民からの要請で掌握している。維持管理を本年度から民間委託に切り替え、迅速に対処している。

(2) 数度の舗装補修によるかさ上げ、民間造成地からの



▲役場町民生活課窓口

見交換の場を設置しては。 (3) 行政区担当制による職員を配置してみてもいい。 (4) 職員駐車場の確保の見通しはどうか。 (5) 役場入口に受付案内係を設置してみてもいいか。

ことは資質向上に必要であるので、今後、県への出向を進めたい。

(2) 現在、第五次長期総合計画の策定作業中であり、その策定委員会（コラボ委員会）には職員22名が町民委員50名と一緒にワークショップを通じ、まちづくりの

域の活性化策が必要である。導入に向け検討を行っていく。

(4) 町民の環境に対する意識、各種事業の実施期間における職員のマイカー自粛等により、役場駐車場が満車になることは少なくなっている状況である。

安全なまちづくりは
町政の基本です

ちよっとひとこと



▲注意が必要な道路箇所

行政の効率化を

ちよっとひとこと

っている。引き続き実施していく。

(5) 関係機関と協議し、判断を仰ぎたい。



丸山勝利 議員



平間孝士議員

ブックプレゼントで 心の教育を

問

小学校入学を機に、子どもたちがさらに楽しい本の世界と出会い、読書に親んでもらいたいとの願いを込め、山梨県中央市では入学式の日には学校の先生や図書館の司書が厳選した絵本のリストが手渡される。子どもたちはリストを家に持ち帰り、家族とどの本を選ぶか話し合う。その後、希望する本を記した申込書を担任の先生に提出すると、選んだ本が5月末に贈呈される。子どもたちにとっては、ブックスタート

から続く読み聞かせから「自分で本を選び、自分で本を読む始まり」になり、少ない予算で子どもにも与える教育効果は計りしれないと思われる。当町でも実施すべきでないか。

答

プレゼント事業については子どもに夢を与える事業と解釈しており、学校教育スタート時点での取り組みは、これから歩む学校生活の励みにもあるのではないかと感じている。提案のセカンドブック事業に

取り組むことは、子どもたちの生活に心のゆとりを持たせるきっかけとして教育上、大いに意義があるものと理解する。心の教育としての教育場面でも有意義な

機会であると受け止める。できるだけやれる方向で、学校現場の声なども聞いた上で考えたい。

読書でゆたかな心を

ちょっとひとこと



▲本をたくさん読んでゆたかな心に

災害時の水利は万全か

問

町民の生命と財産を守ることは、町として最重要課題である。今後、30年以内に99%の確率で起こると予想される宮城県沖地

(3)当町は町境のほとんどが山林だが、山林火災時、消火活動で近隣市町との連携はどのように考えているか。
(4)山間部には河川が流れて

答

(1)水道の敷設替えの際に、水道の蛇口を取り付けて確保してきた。今後とも進めていきたい。
(2)現在計画はないが設置後

(5)被害が甚大の場合、「災害時相互応援に関する協定」等に基づき支援要請を行い、復旧支援や応援給水体制がとられる。



枅 和也 議員

給食は自園調理の堅持を

問 当町では不動・桜保育所の公立2箇所、第一、第二光の子、金ヶ瀬カトリック保育園の民間3箇所保育サービス提供している。原則、保育所（園）における給食については、施設外で調理し、搬入する方法は認められていない。しかし、厚生労働省の構造改革特区を活用することにより、保育所（園）の運営の合理化を進める等の観点から、諸条件はあるが外部搬入を行うことができるようになる。外部搬入を取り入れることは経費削減優先の方向に走り、一番大切な子どもたちの育ち、食育を忘れていないのか。

のではないのか。外部搬入では個別の子どもの発達や状況に応じたきめこまやかな食事の対応（子どもの状況により調理方法を考える、特に食物アレルギーへの対応）ができない。それらは自園調理だからこそ可能であり、また保育の質を低下させないためにも自園調理を続けていかなければならないと考える。現在町内の5施設はいずれも自園調理となっている。この方法を堅持されることを願い、(1)今後、外部搬入方式を検討する考えはあるのか。(2)町として食育の推進をどう考え、食育を大切にしているのか。火災時に早急に水利として利用できるよう水門等を設置する考えはないか。(5)当町の災害時の給水態勢はどのようになっているか。



▲水利がなくては火は消せません

(1)防火水槽への補充水利は確保してあるか。
(2)防火水槽の耐震化、埋設化への改修予定はあるか。

40年経過しているものや、安全面で今後検討したい。(3)現在、相互応援協定を締結はしていない。応援要請で対応したい。(4)消火活動に有効と考えるが、現状では困難と考える。土嚢によるせき止めで対応したい。

置っているのか。

答 (1)「食」も幼児教育の一環と捉えていることから外部搬入の検討は行っていない。

(2)食育の大切さを国、県と同じ位置づけと考え、健全

必要なときに
必要な水利を

ちょっと
ひとこと



▲「先生、今日もおいしいよ」 保育園給食風景

意見書

防災・生活関連予算の

拡充と

国土交通省の

地方出先機関の存続を

地方分権改革の推進として、国の出先機関の縮減・廃止、直轄事業負担金制度の廃止、道路・河川の移管に伴う国民負担率並みの交付金の創設などを掲げているが、国民の安全・安心を守る社会資本の整備と管理は国が責任を持って実施するのが憲法上の責務である。よって、防災生活関連予算の拡充と地方整備局の廃止でなく存続を強く求める。

提出先 内閣総理大臣

国土交通大臣

宮城県知事

議員発議

議会広報委員の

費用弁償を廃止

3月議会において、議会活動における費用弁償の支給は一切行わないとする条例改正を行った。今回の提案は先の条例にならない、議会広報の発行に関する条例の費用弁償の支給の条文を削除するものである。

(全員賛成で可決)

陳情書受理

夫婦別姓制度の導入に

反対する意見書採択の陳情書

女性の社会進出や個人の権利意識の高まりの中、個人主義が強まり、人とのつながりが薄れる中で、選択的であっても導入されれば、親子別姓をもたらすなど家族の絆が希薄化することから制度化しないよう要望するもの。

陳情者

岩沼市 内山光法氏

みなさまの地域におじゃまいたします

「議員の出前懇談会」を開催いたします。

開かれた議会を推進するため、町民グループや地域の要請等により、議員が直接出向き、議員の考え、議会運営について、さらにまちづくりについてみなさまの意見等を議会に反映させることを目的に「議員の出前懇談会」を開催いたします。

■利用方法■

10人以上の出席が見込める団体・グループ等

■日時・場所は■

要望に合わせます。

■懇談会のテーマは■

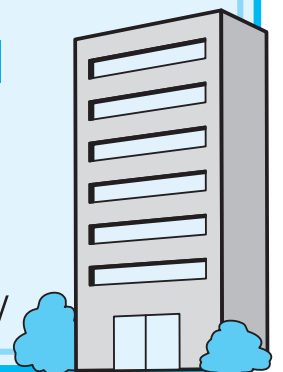
まちづくりに関すること等。

■要請方法は■

懇談会を要請する団体等の代表者は、開催日の30日前までに議会事務局へ要請書を提出してください。

お願い…懇談会終了後はアンケートにご協力をお願いします。

詳しくは、大河原町議会事務局 電話 0224-53-2800
町のホームページ <http://www.town.ogawara.miyagi.jp/>



請願

「町民バス」の運行を

通院や買い物、またさまざまな用事で出かけるとき、移動手段がなく日常生活に支障をきたし大変困っている声が、いわゆる交通弱者の方々から数多く出ている。「医療費よりタクシー代の方が高く通院の回数を減らしている」「足がなくて年寄りはどこにも出かけられない」等である。住民が豊かに安心して暮らせるためにも早期の実現を望む。

紹介議員

- 岡崎 隆・丸山勝利
- 堀江一男・佐藤貴久
- 山崎 剛・半澤敏美
- 平間孝士・松井美子
- 庄司 充・万波孝子
- 佐藤 巖・枅 和也

この請願は総務文教常任委員会に付託し、閉会中に審査を行うこととなった。

所管事務の調査報告

所管事務の調査とは議会閉会中の間に町がかかえる問題点・課題に対して解決方法を提言する。同時に町の施策の一部を町民がわかりやすく理解できるようにするために、常任委員会がそれぞれの課題を調査すること。

総務文教常任委員会

学校給食で地域産食材の推進を

学校給食での地域産食材の使用状況の推移と食材について現状を確認。

産業振興課と連携し、地場産品の利用を推進。気候要因の影響もあるが、21年度は前年度よりキロ数で3倍増である。食材により農家の生産量が少ない物もあり、生産者との協力体制づくりが必要であることと、センターの老朽化、手狭に感じられる点への対策へ検討をすべきと提言する。



▲産業建設常任委員会



▲総務文教常任委員会

産業建設常任委員会

国道4号線4車線化及び金ヶ瀬中東線道路

国道4号線4車線化工事は拡幅に伴う排水工事を含み、かなり進んでいる。

中東線取り付け道路の一期工区の用地買収はほぼ完了しているが、一部地権者の理解を得られていない箇所がある。二期工区では用地買収の課題や投資効果による利便性の検討が必要とのこと。今後、中東線に関わる交通量の調査を行い、事業の必要性と用地取得には地権者への誠意を持って粘り強く対応すべきと提言する。

議会活動日誌

今回は4月・5月・6月の活動報告をいたします。

4月

19日 議会広報委員会

5月

7日 総務文教常任委員会

所管事務調査

11日 産業建設常任委員会

所管事務調査

6月

1日 全員協議会

15日 議会運営委員会

16日 第三回定例会本会議

22日～24日

定例会本会議

訂正

前々回114号8ページ、区長の費用弁償見直しの記事で平均報酬月額とすべき箇所を年額と記載しておりました。お詫びし訂正いたします。

小山田区 大野 岳



地震、雷、火事、親父。世の中には恐ろしいものがたくさんあります。その中でも一番目に恐ろしい親父について話をしましょう。と、思いましたが、ここではあえてしないことにして、今回は火事に係わる話をさせていただきます。平成22年4月1日、私は大河原消防団に入団しました。まだ入団したばかりであり、戦力になれてはいませんが、早く一人前になれるように先輩方の技を身に着け、大河原町のために活動していきたいと思っております。

まず入団して一番に感じたことは、先輩方の団結力の強さです。仲間を思う気持ち、地域を思う気持ちが、いざという災害時に立ち向かう大きな力となることは

容易に想像でき、頼もしい限りです。近い将来、宮城県沖地震が起こりうると言われています。大きな震災では建物の倒壊での被害はもちろんです。地震による火災がさらに恐ろしいと聞きます。阪神・淡路大震災では、地震後の火災による被害だけでも約9000世帯にも及んだとのこと。現在の大河原町の世帯数が約8800世帯ですから、町全世帯が火災により焼失してしまうのと同じ位の規模であったようです。消防に係わる私の活動は重要であることを認識し、団結力を武器に全力で活動していきます。これを読んだことを機に、ご家庭の震災対策を再確認して頂けたら幸いです。

9月議会のお知らせ
 議会を傍聴しませんか
招集日 9月2日(木)
再開日 9月8日(水)
 詳細は議会事務局まで
☎53-2800

議会広報編集会議

去る7月21・22日、県北美里町議会、岩手県雫石町議会と広報委員会視察研修を行ってきました。町民に議会をわかりやすく伝えるという事は「議会だより」編集に関わる委員の大きな課題であります。手本となる議会だよりのアイデア、工夫に学び当町に活かすことで一人でも多くの方が議会だよりを楽しみに待ってくれるものにできるよう、これからも委員一丸となつてがんばります。



街かど ワンショット

クワガタみつけた。
 子どもたちが大好きな昆虫。特にクワガタ虫やカブト虫は子どもたちの人気者であります。大河原町でも早朝、山近くの電柱の下や、ならの木、くぬぎの木等にいる昆虫を取ることができます。まだ自然が保たれている証です。これからも自然を大切にしたいものですね。



編集後記

日々寝苦しい夜が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

議員改選後新しい議会広報委員会になって早いもので1年が経ち、「議会だより」も5号目を数えました。町民の皆様に見やすく、読みやすく、わかりやすい「議会だより」になるように取り組んでまいりましたがいかがだったでしょうか。今後も、号を重ねるたび進化するように作りたいと思います。皆様方のご意見をぜひお寄せください。

(丸山)

- 編集発行責任者** 議長 佐々木守伸
- 議会広報編集委員**
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 万波 孝子 |
| 副委員長 | 堀江 一男 |
| 委員 | 丸山 勝利 |
| 委員 | 松井 美子 |
| 委員 | 柘 和也 |